

令和元年度日本農林漁業振興会会長賞受賞者受賞理由概要
女性の活躍

地元の多彩な女性による、農村地域の活性化

○氏名又は名称 企業組合らんどまあむ（代表 大越 歌子）

○所在地 栃木県下野市

○出品財 女性の活躍

○受賞理由

・地域の概要

下野市は、栃木県の中南部に位置し、JR宇都宮線の自治医大駅を中心とした新市街地、日光街道沿いの旧宿場町があり、その周辺部に田園地帯が広がっている。主な農産物は、米麦を中心に、ほうれん草やたまねぎ、きゅうり等があり、肥育牛も多く飼養され、特産品の干瓢は、全国一の生産地である。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

企業組合らんどまあむは、平成23年、道の駅しもつけの開設に合わせ、地域産品を提供することを目的に、農村生活研究グループメンバーを中心に管理栄養士や調理師、介護ヘルパー等多彩な資格を有する者が集まり設立された。現在、構成員10名（うち女性9名）で地域特産品の加工・販売、配食サービスを行っている。

・受賞者の特色

（1）郷土食を活かしたブランド力の向上

同組合では、大越代表理事の農場の米や干瓢、ごぼう等地場野菜などを使用した総菜や弁当を提供している。色どりの良い弁当は、カロリーを表示し、塩分控えめで女性や高齢者等の健康志向に応えたものとなっている。道の駅では、「干瓢の八幡巻」や郷土料理「しもつかれ」ほか、季節の総菜など20品目を販売し、下野市のPRに貢献している。売上は、弁当販売を中心に順調に推移している。

（2）女性の活躍

同組合は、地域ブランド品の開発を起点に、志を共感する仲間が集まり、自ら働く場を創出し、個々の組合員が責任を持ち平等に意見を出し合える組織となっている。これにより、活発な商品開発だけでなく、ローテーションを組みながら年間360日の営業が可能な体制づくりが行われている。安否確認を兼ねた高齢者への配食サービスでは、悩み相談も行い、女性ならではの心配りが活かされている。

・普及性と今後の発展方向

組合員全員が、多彩な能力を発揮しつつ、「やりがい」と「生きがい」を持って活動を行っている。また、そのための相互連携の強みを活かす仕組づくりが行われている。これにより干瓢加工品の下野ブランド化、地産地消、健康志向に基づく食の改善、食育、地域福祉、祭事を含む地域コミュニティの維持・再生にも貢献し、県内の女性起業のモデル事例となっている。今後、若手の採用も行う意向であり、更なる事業の発展が期待される。